



2023年度 第2回

オンライン

会場

オンデマンド

ダイバーシティ就労支援実践研修

多様化する就労困難者をめぐる現状の課題と、すぐに現場で使える知識を習得する4日間

開催日【全4日間】 ●第1~3日10:00▶16:00 ●第4日10:00▶16:20（懇親会16:30▶18:00）

第1日

オンライン

10月30日 月

第2日

オンライン

10月31日 火

第3日

オンライン

11月14日 火

第4日

オンライン
+会場

11月16日 木

- 第1~3日はオンライン方式ですが、第4日のみ会場（東京:日本財団）とのハイブリッド開催です。
- 第1~3日講義終了後、ご希望者でグループリフレクション（振り返り）を行います。
- オンデマンド（録画配信）受講も可能です。

【主催】 公益財団法人日本財団

【後援】 厚生労働省

【運営・委託】 一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構

研修のねらい



日本財団WORK! DIVERSITYプロジェクトは、何らかの事情で働きづらさを抱える多様な人々を就労の場につなげる本格的な政策を打ち出したい、と2019年初頭にスタートしました。

本研修は、WORK! DIVERSITYプロジェクトの取り組みの一環で、以下4点の基本知識とスキルの習得を目指します。

ダイバーシティ就労支援の基本理念

障害者以外の主要な対象者の態様別特性

公的機関との連携、就職後の支援

一般就労・企業実習・中間就労の支援

WORK! DIVERSITYプロジェクトでは、今後、ダイバーシティ就労支援事業所認定制度の実現を目指しています。

今回の研修の修了者には、「**ワークダイバーシティ実践研修受講証明書**」を日本財団会長名で賦与します。

研修の特徴

1

多様な科目と講師陣

全21科目。多様な就労困難者の支援について、最前線で活躍する多彩な講師陣から学ぶことができます。

2

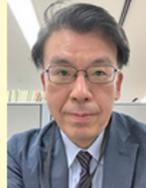
実践的な内容

すでにダイバーシティ就労支援に取り組んでいる法人の事例を学べます。2つの演習科目により実践的な知識・スキルを習得できます。

3

確実な学び

オンデマンド（録画）で自由な時間でも受講できます。研修後の確認テスト、解説動画、レポートのフィードバックで学びを深めることができます。

10:00-10:10	開講あいさつ	竹村利通 日本財団シニアオフィサー	
10:10 ▼ 11:10	<p>地域共生社会の理念とWORK! DIVERSITYプロジェクト ダイバーシティ就労支援の多様な意味、必要となった背景を、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる地域共生社会づくりの考え方と絡め理解する。</p>	<p>樽見英樹 日本年金機構副理事長、元厚生労働事務次官</p>	
11:20 ▼	<p>就労支援制度の理解1（生困・生活保護・重層的支援体制整備） 就労支援に関連する生活困窮者、生活保護関係の諸制度・施策のポイントを習得する。</p>	<p>鈴木由美 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 就労支援専門官</p>	
12:10 【選択科目】	<p>就労支援制度の理解2（雇用訓練制度（若者サポートステーションを含む）） ダイバーシティ就労支援に活かすことを目的に、若者サポートステーション、求職者支援制度、氷河期世代支援策、キャリアコンサルティング、公共職業訓練等に関する施策のポイントを習得する。</p>	<p>志村幸久 （独法）労働政策研究・研修機構総務担当理事</p>	
13:00 ▼ 13:50	<p>ハローワーク等の公的支援機関、自治体、社会福祉協議会等との連携 ダイバーシティ就労支援を進める上で重要な公的就労支援機関の役割と活動の実態を理解し、主要な公的就労支援機関と連携するために必要な知識を習得する。</p>	<p>春名由一郎 （独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括研究員</p>	
14:00 ▼	<p>地域企業との連携（地域企業への就職、実地研修を推進する方策） 地域の企業との連携を進めるうえでの基本的ノウハウを習得する。</p>	<p>藤尾健二 千葉県障害者就業・生活支援センター長</p>	
15:00 【選択科目】	<p>自治体が行う連携のポイント ダイバーシティ就労支援の前提となる自治体内各課および自治体間（都道府県と市町村、市町村間）の連携の重要性を理解し、そのポイント、留意点を習得する。</p>	<p>林星一 座間市福祉部参事</p>	
15:10 ▼ 16:00	<p>地域でのインクルージョン及びソーシャルファームへの取り組み 地域でのインクルージョンの推進、ソーシャルファーム（ダイバーシティ就労）への取り組みに当たってのポイント、留意点を習得する。</p>	<p>中崎ひとみ （社福）共生シンフォニー理事長</p>	
16:10-16:30	ご希望者：グループリフレクション（振り返り）	※ZOOMブレイクアウトルームフリートーク	

<p>10:00 ▼ 11:00</p>	<p>態様別理解1 (ひきこもり) ひきこもる背景と当事者・家族の思いを理解し、就労支援上の課題と対処法を学ぶ。特に、ひきこもり者への対応は就労支援前のアウトリーチ的対応が特に重要であり、ステップを踏んだ対応が必要であること、他方でステップを踏めば就労につながることを習得する。</p>	<p>伊藤正俊 KHJ全国ひきこもり家族会連合会顧問</p>	
<p>11:10 ▼ 12:00</p>	<p>態様別理解2 (LGBTQ) LGBTQの基本概念と就労における現状を認識し、LGBTQの人々の就労上の課題と対応方法の基本を習得する。</p>	<p>佐藤洋作 認定NPO法人文化学習協同ネットワーク代表理事</p>	
<p>13:00 ▼ 14:00</p>	<p>態様別理解3 (難病) 治療を続けながら就労を希望する難病患者の増加と、障害者の認定外でありながら就労困難性を有する現状を認識し、支援ニーズを踏まえた支援の基本を習得する。</p>	<p>辻邦夫 (一社)日本難病・疾病団体協議会常務理事</p>	
<p>14:10 ▼ 15:00</p>	<p>態様別理解4 (刑務所出所者等) 刑務所出所者等の方々の背景や就労の現状・課題を認識し、当事者意識をもつ。</p>	<p>川尻洋美 群馬大学医学部附属病院難病相談支援センター 難病相談支援員 (保健師・認定難病看護師)</p>	
<p>15:10 ▼ 16:00</p>	<p>態様別理解5 (高齢者等ケア付き就労) 支援(ケア)を受けながらの就労が必要な高齢者が増加している。こうした者に対する支援を行う上でのポイント、留意点を習得する。</p>	<p>三宅晶子 (株)ヒューマン・コメディ代表</p>	
<p>16:10-16:30</p>	<p>ご希望者：グループリフレクション (振り返り)</p>	<p>※ZOOMブレイクアウトルームフリートーク</p>	

<p>10:00 ▼ 11:00</p>	<p>就労困難者の勤労意欲向上方策 生活保護受給、ひきこもりの人々を就労に導くために、様々な形で「やってみる」機会の提供、スモールステップで利用者の自尊感情を高めることを重視する「釧路モデル」を学び、就労困難者の就労意欲の向上を図る。</p>	<p>櫛部武俊 (一社) 釧路社会的企業創造協議会代表理事</p>	
<p>11:10 ▼ 12:10 【選択科目】</p>	<p>多様な就労困難者の就労可能性を広げるアセスメントと支援の世界の動向 幅広い就労困難者や生活困窮者等の就労可能性を広げ、誰もが職業で活躍できるためのアセスメントや支援の原則を、世界の障害者就労支援の最新知見から習得する。</p>	<p>春名由一郎 (独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括研究員</p>	
	<p>ジョブコーチ的視点からのダイバーシティ就労支援 障害者以外の多様な就労支援が必要な方々に対するジョブコーチ的な支援の必要性とそのポイントを習得する。</p>	<p>若尾勝己 NPO法人東松山障害者就労支援センター代表理事</p>	
<p>13:00 ▼ 13:30</p>	<p>「働く」とは何か 現在の日本社会において働くことの重要性は何か、を理解する。</p>	<p>清家篤 日本赤十字社社長 (慶應義塾学事顧問)</p>	
<p>13:30 ▼ 14:20</p>	<p>千葉県におけるダイバーシティ就労への取り組み 「誰でも共通に就労機会が得られるべきであることを理念とするユニバーサル就労」から、それを発展し、「個別の利用者に応じた多様な対応を強調するダイバーシティ就労」の流れを踏まえたダイバーシティ就労支援の意義を理解する。</p>	<p>池田徹 NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 理事長</p>	
<p>14:30 ▼ 16:00</p>	<p>【パネルディスカッション】モデル事業の実践からダイバーシティ就労の今後を考える 障害者就労支援機関のダイバーシティ就労への実験的取り組み過程で見られる光と影を率直に表に出していただき、WORK! DIVERSITYプロジェクトの目指す方向を改めて再確認する。 座長：村木太郎 パネリスト：西岡正次、モデル事業4地域マネジメントセンター統括責任者</p>	<p>【座長】村木太郎 元厚生労働省総括審議官、就労継続支援A型事業所 全国協議会理事</p>	
		<p>西岡正次 A'ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター) 副館長・就労支援室長</p>	

		<p>(豊田市) 栗本浩一 (一社) ワーク・ダイバーシティ・スタイル 代表理事</p>	
		<p>(岐阜市) 後藤千絵 (一社) サステイナブル・サポート代表理事</p>	
		<p>(千葉県) 島田将太 NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 事務局長</p>	
		<p>(福岡県) 中村信二 福岡県就労支援協同組合理事長</p>	
16:10-16:30	ご希望者：グループリフレクション（振り返り）	※ZOOMブレイクアウトルームフリートーク	

<p>10:00 ▼ 12:00</p>	<p>アセスメント支援（演習1） 就労支援におけるアセスメントの重要性を理解し、体感する。 ※研修終了後にレポートを提出いただきます。</p>	<p>高橋尚子 （一社）京都自立就労サポートセンター理事</p> 	
<p>13:00 ▼ 15:00</p>	<p>就労体験や職業訓練を利用した就労支援プログラムの作成（演習2） 仕事・働く場の情報をもとに体験や訓練付き就労プログラム、職業訓練を活用する支援プログラム作成について基本知識を提供する。 ※研修終了後にレポートを提出いただきます。</p>	<p>西岡正次 A'ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター） 副館長・就労支援室長</p> 	
<p>15:10 ▼ 16:10</p>	<p>本研修のまとめとダイバーシティ就労支援の展望 ダイバーシティ就労支援は、今後の日本社会の重要なセーフティネットであることを深く認識し、受講者にWORK! DIVERSITYプロジェクトのサポーターとなってもらう。</p>	<p>田中勝則 A'ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター） 就労支援事業部長</p> 	
<p>16:10-16:20</p>	<p>閉会あいさつ</p>	<p>朝日雅也 埼玉県立大学名誉教授</p> 	
<p>16:30 ▼ 18:00</p>	<p>懇親会（自由参加：軽食をご用意いたします。） ●オンライン、会場それぞれ実施いたします。</p>	<p>吉倉和宏 日本財団常務理事</p>	

- ・お申し込み時にオンライン参加、会場参加をお選びいただきます。
- ・会場は、東京：日本財団（<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/access>）になります。

※掲載情報は2023年8月25日現在のものです。最新情報は一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構のホームページにてご確認ください。

受講料

全4日間 **18,000** 円

受講者特典

- ダイバーシティ就労支援クラブ※の入会費・今年度の年会費が無料。
 - 研修当日の録画を期間限定（研修最終日後1か月）でご視聴いただけます。
- ※ダイバーシティ就労支援クラブでは以下の活動を行います。
講演会、セミナー情報の提供/交流会の開催/個別相談の提供/事務所ツアー等の各種イベントの開催など

お申し込み方法

一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構ホームページにて詳細をご確認のうえ、お申し込みください。

<https://jodes.or.jp/kensyu/>

ダイバーシティ就労支援実践研修



【問合せ先】ダイバーシティ就労支援実践研修 事務局 ☎ 03-5256-2250 ✉ desk@jodes.or.jp

一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構 <https://jodes.or.jp/>

一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構は、日本財団からWORK! DIVERSITYプロジェクトの運営を委託されています。